

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	長野県移住モデル地区のお試し移住の仕組み構築事業
事業主体 (連絡先)	南信濃 1500 委員会 飯田市南信濃和田 2596 番地 3
事業区分	(1) 地域協働の推進 (8) その他地域の元気を生み出す地域づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	553,500 円 (うち支援金: 442,000 円)

事業内容

南信濃地区では、著しい人口減少により高齢化、少子化が急速に進み、小中学校の児童生徒や保育園の園児数が減少し、近い将来、保育園・小中学校の存続すら心配される状況である。これらの課題を解決するために、次の取り組みを実施。

・地区内の空き家を「お試し住宅」として改修し、移住希望者がお試しで滞在できる環境整備について調査研究。(9月～2月)

・移住・山村留学希望者への PR・支援(新聞広告、チラシ作成、南信濃 1500 委員会サポーターユニホーム作成・のぼり旗作成)



【空き家対策研修会】

【目標・ねらい】

- ①お試し移住の仕組み構築
- ②移住者向けの住宅確保
- ③交流・関係人口の拡大
- ④やまざと親子留学の推進

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①空き家対策研修会を開催して先進地の取り組みのノウハウを参考にして、お試し移住に利用可能な物件の調査及び所有者との交渉などを進めることが出来た。

②移住・山村留学希望者への PR 方法の一つとして中京方面へ当地域の「やまざと親子留学」の新聞広告を掲載したところ、名古屋方面からの問い合わせや留学希望家族の来訪が増えている。

③田舎に帰ろうプロジェクトのチラシ内に当地域の介護・福祉スタッフの募集も含めたところ就業希望者とのマッチングに1組成功した。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

長野県移住モデル地区としてお試し移住の仕組みを更に強化するために、利用可能な空き家の調査と確保を進める。利用可能な空き家については貸付又は譲渡可能な状態にするために引き続き南信濃まちづくり委員会と連携して取り組む。また、「やまざと親子留学」については令和5年度以降も継続して取り組むが、保育園の園児確保に向けて行政とも連携して保育園のお試し入園の推進を図っていく。

※自己評価【A】

【理由】

- ・移住希望者向けの空き家を2件確保できた。
- ・中京方面から「やまざと親子留学」や移住に関する問い合わせや来訪者が増えた。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある